

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2012のお知らせです

今、取り戻す「存在の価値」 誰にも在る「命のこと」について考えましょう 主催：NPO法人地域生活を考えよーかい

日時：9月1日(土) 10:00～17:00 (9:30開場)

会場：伊丹商エプラザ 伊丹市立産業情報センター マルチメディアホール

※参加費は不要です

10:00 開会 お礼とご挨拶 李 国本 修慈 主催者代表

10:15 講演「語り継ぐあの日からのこと、語り伝えるいのちの授業」

田中 総一郎 さん(宮城県拓桃医療療育センター 地域・家族支援部 小児医療部長)

11:45 質疑応答

12:00 休憩

13:30 お話「いま、そこに在るいのち それぞれの『わたし』を生きる」

西村 理佐 さん(「長期脳死の愛娘とのバラ色在宅生活 ほのさんのいのちを知って」著者)

14:30 休憩

14:45 シンポジウム「私たちは、こうして生きていきたい」

シンポジスト

大坪 雅子 さん(七海さんのお母さん)

西村 理佐 さん(帆花さんのお母さん)

コーディネーター

尾瀬 順次 さん(NPO法人てくてく)

篠原 文浩 さん(社会福祉法人イエス団)

コメンテーター

田中 総一郎 さん

清水 明彦 さん(西宮市社会福祉協議会)

16:45 今日のことと、これからのこと 李 国本 修慈

17:00 閉会

とってもステキな方々が
いらっしゃいます!!!
ぜひ9月1日(土)は
伊丹市にお越しください!!!

■お問い合わせ・お申し込み

NPO法人地域生活を考えよーかい・有限会社しえあーど迄

電話072-785-7873 FAX 072-711-1203または072-785-7873

※ ご参加いただける方は、代表者名と参加人数をお知らせ下さい。

※ 手話通訳、要約筆記が必要な方はお知らせ下さい。

※ 昼食は近隣の飲食店でお願いします。

■会場アクセス

阪急伊丹駅から7分 JR伊丹駅から徒歩8分

駐車場は、宮ノ前地下駐車場をご利用ください

伊丹商エプラザ 伊丹市立産業情報センター
マルチメディアホール

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-2-2

TEL:072-773-5007 FAX:072-778-6262

URL: <http://www.meditam.org/>



誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2012のお知らせです

NPO法人地域生活を考えよーかい及び有限会社しゅあーど関係者みなさま、今回のフォーラムに関心を持っていただいた（いただきたい）みなさまへ。

私どもの法人では、お知らせの通りのフォーラムを伊丹市で開催することとなりました。

この10数年の間、例えば福祉基礎構造改革という文言のもと、介護保険法や支援費制度に障害者自立支援法等の法整備が進められ、今も変化をしながら、社会の構造をより良い方向へと多くの方々が尽力している訳ですが、どうしても釈然としないこと、・・・10数年も前と同じ「生き難さ」を訴える人が居るといふこと、あるいはこの間の社会情勢の中で新たに増えたと思われる同様な人たちが居るといふこと。

私たちは主に「障害者・児」といわれる（言われてしまう）方々と関わってきた中で、彼女・彼らの「存在」や、只在る「いのち」に触れさせていただくことで、とっとも大切なもの・ことを感じさせていただきました。

なんとなく（いや、もしかしたら意識的に、あるいは無理やりに）無いことだとか不要なことだとされようとしている「大切なこと」をみなさんと感じ考えたく、今フォーラムを企画してみました。

そういったことを考える際に、とっともステキな方々にお集まり願いましたので、ぜひ多くの方々にご参加いただけますよう宜しくお願いいたします。

2012年7月11日 李 国本 修慈

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2012のお知らせです

9月1日（土）、伊丹にいらっしゃる方々のご紹介です。

田中総一郎さん

とにかくステキな人です。宮城県仙台市の拓桃医療療育センターに勤める（と言うより努める）お医者さん（小児科医療部長さん^-^;）です。

一緒に居ると「ほんわか」となります。お話しをお聞きすると「あったかく」なれます^-^;。東日本大震災の際にも多くの仲間と共に活躍された方です。

そして、今回のフォーラムのテーマである「いのち」について語っていただける方であると確信を持ってお招きしました^-^;。

医療や福祉関係者のみではなく、多くの方に、特に教育関係者といわれる方々、そして子どもたち、お母さん・お父さんたちに聞いていただきたいと願っています。



重症児者の防災ハンドブック

—3.11を生きぬいた重い障がいのある子どもたち

田中総一郎・菅井裕行・武山裕一 編著

A5判240頁

定価 2310円(本体価格2200円)

2012.4.11 発行

■ 悲しみを越えて、小さな希望の種をまきましよう

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2012のお知らせです

9月1日（土）、伊丹にいらっしゃる方々のご紹介です。

西村理佐さん

彼女も今回とってもとっても、どうしても呼びたかった人です^-^:。彼女と知り合ってから未だ1年程の私ですが、とってもステキな帆花ちゃん（右記の著書の愛娘・ほのさんです）と「ほのとーさん」と暮らす彼女の言葉は本当に私の心に染み入ってくるのです^-^:。

せんだってば実際に、そんな空気に包まれてみようと「ほのさんち」（西村ファミリー宅）に伺うと、そこには想像以上の「バラ色」がありました。「なま（ナマ）ほのさん」には今回お会い出来ませんが、ぜひ「ほのかあさん」（理佐さん）の言葉をお聞きしていただきたいと思っています。

彼女のお話も、多くのお母さんにお父さんたちにも聞いていただきたいものです。以下のブログも是非ご覧ください^-^:。

ほのさんのバラ色在宅生活
<http://honosan.exblog.jp/>

長期脳死の愛娘とのバラ色在宅生活
ほのさんのいのちを知って
西村理佐



長期脳死の愛娘とのバラ色在宅生活
ほのさんのいのちをしてって
西村 理佐 エンターブレイン

1,050円

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2012のお知らせです
9月1日（土）、伊丹にいらっしゃる方々のご紹介です。

大坪雅子さん 兵庫県加古川市にお住まいです^{^-^};

大坪雅子さん。彼女ともごく最近、お知り合いにならせていただいたステキな方です^{^-^}。ご自身のブログでNPC（ニューマン・ピック病C型）という難病について、七海さん（娘さん）と共に様々な活動をされていることについて、書いていらしゃいます。。

今回は、その難病についてのこと、そして、七海さんのこと、今回のフォーラムのテーマである「命のこと」について、みなさんと一緒に考えていければと思っています。

大坪さんのブログ
ニューマン・ピック病C型（NPC）
～脳が消えてなくなってしまう病気
blog.canpan.info/npc-nana/

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム2012のお知らせです

9月1日（土）、伊丹にいらっしゃる方々のご紹介です。

尾瀬順次さん

京都府は乙訓地域で古くからとってもステキな活動を続けてこられた尾瀬さん。遡ると「重症心身障害者通所援護事業どんぐりの家」からの「どんなに障害が重くても生まれ育った地域でいきいきと暮らしてほしい」という理念を貫いてきた方です。現在は「NPO法人てくてく」さんで活動されています。見た目の通り優しく柔らかく、されど切れ味鋭いとってもステキな方です。

篠原文浩さん

京都伏見区の向島というとってもステキな地域で「社会福祉法人イエス団」さんが運営します「愛隣館研修センター」で、相談支援専門員として活躍されています篠原さん。見た目はちょっと怖いかも?^-^;;（すいません）ですが、とっても優しく繊細な心遣いを持ち得るステキな方です。とにかく知識も意識も豊かな方で、尾瀬さんと私（くにもと）と3人併せて「カンアラ47's」（関西around47輩ス）というイチミを形成しています（主にラーなる魂の磨き込みをしています^-^;;）。

清水明彦さん

西宮市社会福祉協議会の、というか青葉園の、というか、のまネット西宮の、というか、「ラーの会（重症心身障害児者等といわれる方がたらと共に生きる会）」の重鎮というか、教祖さまとも呼ばれる方で、私どもにとっても支柱のような方です（時として夜な夜々な頃にふにゃふにゃにもなりますが^-^;;すいません）。今回もコメンテーターとして参加していただきます。

昨年行われました（2011年8月25日）「ラーの会での宣言文です

2011. 8. 25

重症心身障害児者といわれる方々と共に生きる会 横浜大会 大会宣言のからの抜粋

一人ひとり（重症心身障害児・者といわれる方々）は、何もできない人、保護のもとにある人などでは到底あろうはずがありません。日々自己実現を目指し自分として自分らしく自分の人生を生きていこうとし続けている存在です。一人ひとりが地域社会の関わりの中で一人の市民として生きていこうとすることから、地域社会の中で新たな創造的営みを展開してきたこと。一人ひとりが地域社会の中に新たな価値観を生み出し本当に一人ひとりが大切にされる地域連帯のもとでの豊かさを湧きおこしていることを私たちは身を持って実感し続けてきました。

一人ひとりの存在価値のままに、地域生活展開と制度改革をおし進めていきましょう。

私たちの前で自身の暮らしを築き、一人ひとりの価値的物語を展開し、その人らしさを謳歌する一人ひとりのその立ち上がっていく主体は、厳然として暮らしを拓き続けてきましたし、これからもそうあり続けます。

間違いなくあるご本人さん（重症心身障害児・者といわれる一人ひとり）の存在価値と共に、私たち支援者というよりも共存者として共に立ち上がり、この機会にみんなで確認し繋がりにあっていきましょう。

一人ひとりの存在こそが、地域・社会そしてこの国の希望です。

重症心身障害児・者等といわれる方々と共に生きる会
通称:ケーケー

地域生活を考えよーかい

<http://www.kangaeyo-kai.net/>

有限会社しえあーど

〒664-0006 兵庫県伊丹市鴻池5丁目11番27

李 国本 修慈 kunimoto@kangae-yo.com

tel・fax 072-785-7873 fax専用 072-771-1203

携帯電話 090-9711-1335 s.ri-kuni@ezweb.ne.jp